

「ふくすいき ～福水企～」通信

令和元年6月号



企業団キャラクター
ピユータくん

この「ふくすいき～福水企～」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

イベント等の詳しい情報等が得られるように、タイトルにはできる限り URL を埋め込んでいます。➡ (埋め込みマーク)
また、印刷物は QR コードからアクセスできます。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL 092-552-1731(代)

福岡都市圏及び福岡都市圏の水道水の 1 / 3 を供給する筑後川流域では、**少雨傾向**が続いています。
水不足に備えて**節水**にご協力ください。
また、構成団体の皆さまにおかれましては、住民の皆さまへの節水の広報・啓発をお願いいたします。



江川ダム 6/1 撮影

■ 企業団・構成団体の動き

● 採水実務研修会【開催しました】〔4/24 (水) 水質センター〕

当企業団水質センターにおいて、構成団体で採水実務を担当されている方を対象に採水実務研修会を開催しました。参加者は、水質基準や採水する際の注意点などについての講習を受けた後、実際に使用する容器を使って採水の実習を行いました。10 団体から 23 名の参加があり、皆さんとても熱心に受講されていました。

また今年度から、希望者を対象に臭気検査の体験を行い、カビ臭や重油といった実際の現場で問題となりやすいものを嗅いでもらいました。

今後の業務の参考になればと思います。

＜水質センター 中村＞



臭気検査の様子



採水実習の様子

● 令和元年度福岡地区水道企業団及び構成団体の新任職員研修【開催しました】〔5/21 (火)・22 (水) 牛頸浄水場ほか〕

今年度、当企業団の新任職員や構成団体の水道担当課に転入された職員を対象に、企業団の事業内容や関連施設への理解を深めてもらうため、新任職員研修を2日間にわたって実施し、構成団体から29名(10団体)、当企業団18名、計47名の参加がありました。

1 日目は、企業団各所属の業務説明の後、大野城市にある牛頸浄水場及び水質センター、福岡市東区にある海水淡水化センターの施設を視察しました。

2 日目は、当企業団技術専門員による講演「筑後川について」の後、福岡導水を維持・管理している独立行政法人水資源機構の筑後大堰管理室及び福岡導水総合事業所にて業務の説明を受け、それぞれの施設を視察しました。

＜総務課 平田＞



各所属による業務説明



筑後大堰の見学

●全国水道企業団協議会第63回総会【出席しました】〔5/23（木）富山県^{となみ}砺波市〕

全国の水道企業団等から会員約160名が出席し、全国水道企業団協議会の総会（担当：中部地区協議会）が開催されました。当企業団からは、諫山企業長と職員1名が出席しました。

総会では、広域水道の普及発展等への功績をたたえ、^{むらかみ かつみ}村上 克己 前福岡県南広域水道企業団企業長ほか15名の方が会長表彰を受けられ、出席された10名に会長から表彰状が授与されました。



会議では、会務報告、平成30年度決算、令和元年度予算等の議題のほか、会員提出問題の審議が行われ、以下の15項目が国に要望されることになりました。

- ・東日本大震災に係る水道施設の災害復旧事業等における人的支援の強化及び継続について
- ・水道事業に対する財政支援の拡充及び要件の緩和等について
- ・水道施設の更新・再構築事業等に対する新たな財政支援体制の確立について
- ・IoT/ICTの活用による効率的な事業運営を図るための補助制度の拡充について
- ・再エネ・省エネ機器の導入促進に向けた柔軟な制度運用について
- ・交付金の一部事務組合への直接交付について
- ・公的資金補償金免除繰上償還制度及び公営企業借換債制度の復活について
- ・地方公営企業繰出制度の法制化及び拡充等について
- ・水道施設の災害対策に対する財政支援について
- ・水道事業における災害時の電力及び燃料確保対策について
- ・水利権制度の柔軟な運用について
- ・水源地域における関係機関の連携及び財源措置について
- ・地下水利用専用水道の揚水規制に係る法整備について
- ・クリプトスポリジウム等に関する対策の推進及び財政支援について
- ・電磁式を含む水道メーターの検定有効期間の延長について

その後、^{ひ お き じ ゅ ん い ち}日置 潤一 厚生労働省水道課水道計画指導室長から「水道行政の現状と水道法改正」について、^{も と じ ま え い じ}本島 栄二 総務省公営企業経営室長から「水道事業経営の現状と課題」について説明がありました。

＜総務課 玉井＞

●第 61 回水道週間の取り組みについて〔6/1（土）～7（金）〕

水道週間は、厚生労働省、地方公共団体の水道事業体等によって実施される様々な広報活動等を通して、国民各層に対して、水道の現状や課題について理解を深め、今後の水道事業の取り組みについて協力を得ることを目的として、毎年6月1日～7日に実施されています。

今回についても、構成団体において、次のような様々な取り組みが行われました。



西鉄福岡駅でのPR
(福岡市)



小学校での出前講座
(大野城市)



太宰府市役所でのパネル展示



JR 春日駅前でのPR
(春日那珂川水道企業団)



JR 二日市駅前でのPR
(筑紫野市)



古賀市役所前ののぼり旗



糸島市役所の懸垂幕

当企業団においても、次ページのとおり、イオンモール福津において宗像地区事務組合と共催で、啓発イベントなどを行いました。

＜総務課 中川＞

●水道週間啓発イベント【開催しました】〔6/2（日） 福津市イオンモール福津〕

当企業団では、イオンモール福津 1 階のサウスコートにおいて、宗像地区事務組合と共催で、啓発イベントを行いました。

水道水・海水淡水化水・ミネラルウォーターの 3 つの水の飲みくらべコーナー、とっても不思議な「つまめる水」の体験コーナー、パネルにヒントが隠されたクイズコーナー、水に関する絵本コーナーなどに多くの人が集まりました。

今回は、福岡都市圏広域行政事業組合の流域連携基金キャラクター「ちっこりん」も参加してくれて、2,000 個準備した啓発用のティッシュを全て配布しました。



3 つの水の飲みくらべ
コーナー



つまめる水体験
コーナー



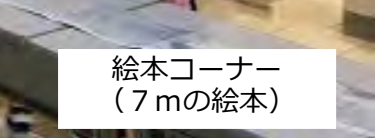
宗像地区事務組合による
クイズコーナー



啓発用ティッシュの配布



流域連携基金キャラクター
ちっこりんによる PR



絵本コーナー
(7 m の絵本)

なお、当企業団ではその他にも、自動車へのマグネットステッカー貼付、のぼり旗の設置などにより広報活動を行いました。

今後とも構成団体と共に広報活動を進めてまいりますので、イベント等の企画がございましたらお気軽にご相談ください。

＜総務課 井上＞



マグネットステッカー



のぼり旗

■ 水源地域との交流事業

実 施 レ ポ ー ト

●水源地「うきは」体験事業【開催しました】〔5/11（土）うきは市山春地区ほか〕

福岡都市圏の水源地であるうきは市で、水や自然環境の大切さを学ぶことを目的として、福岡都市圏広域行政事業組合の主催（当企業団共催）により、毎年、「水源地“うきは”体験事業」を開催しています。

今年も多数の応募があり、抽選で選ばれた福岡都市圏在住の80名の皆さまが^{ながのすいじんじや}長野水神社の見学、茶摘み、いちご狩り、サクランボ狩りを体験しました。

長野水神社は、江戸時代に筑後川の^{おおしげき}大石堰・長野用水の完成に尽力した5人の庄屋を祀っているもので、堰の完成から現在に至るまで筑後川の水を導水し、田畑を潤していることなどの説明を受けました。

茶畑では、お茶農家の方の手ほどきを受けて、茶摘みを体験し、また摘みたてのお茶のてんぷらも賞味しました。

「うきは果樹の村」で地元の食材を使ったお弁当をいただいたあと、いちご狩りやサクランボ狩り、さらに、帰りには、「道の駅うきは」で地元の農産品等の買い物などを楽しみました。参加者の皆さまは、青空の下、新緑の中で爽やかな風に吹かれながら、うきは市の自然を満喫するとともに、水やうきは市の歴史を学ばれたことと思います。

本事業の実施にあたり、多大なご協力をいただきましたうきは市役所の皆さまに厚く御礼申し上げます。

＜総務課 田子森＞



長野水神社



参加者全員で記念撮影



茶摘みの様子



昼食会場



いちご狩り



サクランボ狩り

● 第 52 回津江山系釈迦連峰山開き【参加しました】〔5/12（日）大分県日田市前津江町〕

日田市前津江町では、毎年5月に山の安全を祈願する「津江山系釈迦連峰山開き」が開催されています。今年で第52回の開催となり、スノーピーク奥日田キャンプフィールドにおいて開催されました。

昨年までの「山開き」は、行政が主体となって開催されていましたが、今年からは地域住民で構成された「山祭会議」の主催により実施されることとなりました。

山の安全を祈願する山開きの神事は、地元の方々により5月11日（土）に行われました。

当企業団は、5月12日（日）の山開きイベントに橋本副企業長以下5名の職員が参加しました。

当日は、原田啓介日田市長や大分県・日田市議会議員、地元の方々や登山者など、多くの方が来場されました。

式典では原田市長をはじめ来賓の方々から、この地域が筑後川の水源地であり、水源を守ることの重要性や自然豊かな前津江に多くの人が来ていただきたいなどのあいさつがありました。

その後、来場者は、餅まき、藤蔭高等学校吹奏楽部や地元のバンドの演奏、抽選会などのアトラクションを楽しみながら、青空の下、地元から出店した飲食テントで昼食をとったり、農産物やその加工品、雑貨などを購入するなどして、楽しいひとときを過ごされていました。



山開き会場

<総務課 田子森>



副企業長の音頭による万歳



餅まき



藤蔭高校吹奏楽部の演奏



釈迦連峰からの眺望

●第 47 回江川水源祭【開催されました】〔6/1（土）朝倉市江川ダムほか〕

朝倉市の江川ダムにおいて、ダム建設に協力された方々への感謝の意を表するとともに、施設の安全と今年の豊水を祈念して、江川水源祭実行委員会（朝倉市、両筑土地改良区、福岡市水道局、独立行政法人水資源機構、福岡地区水道企業団）が主催する「江川水源祭」が開催されました。



朝倉市長のあいさつ

ダム堤体で行われた式典には、朝倉市長をはじめ、地元関係者、両筑土地改良区理事長、福岡市水道事業管理者、水資源機構筑後川局長、関係機関の代表者、当企業団の企業長など約 50 名が出席し、清酒注ぎの式が厳粛に執り行われました。

6 月 1 日現在の江川ダム貯水率は、約 39%となっており、夏場の水需要本番を迎えるにあたって豊水を祈念しました。 <総務課 田子森>



企業長の清酒注ぎ



江川ダムの貯水状況

6 月， 7 月の予定

●千年の森下草刈り【開催されます】〔7 月下旬 大分県玖珠町伐株山^{きりかぶ}〕

筑後川上流域の大分県玖珠町伐株山の「千年の森」において、有明海に豊かな水が流れるように願い、玖珠町キャラバン隊（事務局：玖珠町まちづくり推進課）の主催により、水源林の下草刈りが行われます。

詳細は後日ご案内いたしますので、構成団体から多くの職員の皆さまの参加をお願いします。

<総務課 田子森>

日 時 令和元年 7 月下旬
9:00～13:00（予定）
開催場所 大分県玖珠町伐株山



下草刈り（昨年）

■構成団体・水源地域の主なイベント 【お出かけください】

6月，7月の予定

- エツ漁解禁〔5/1（水）～7/20（土）久留米市城島町〕と第16回城島エツ祭〔6/23（日）〕
（公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました）

エツは、カタクチイワシ科の魚で、国内では有明海にのみ生息し、晩春から初夏にかけて産卵のため筑後川下流域に遡上してきます。希少な魚であるため、漁の解禁は5月1日～7月20日と決められています。

「エツ祭（エツツサイ）」は、エツ漁の最盛期である6月下旬に毎年開催されます。エツの骨切りや投げ網が体験できます。また、エツの唐揚げやエツバーガーの販売もあります。

この時期にだけ味わうことができる貴重な郷土料理を、ぜひ味わってみてください。

＜総務課 中川＞

日 時 令和元年6月23日（日）10:00～15:00
※ 小雨決行
開催場所 久留米市城島町六五郎橋河川敷公園
問い合わせ先 エツ祭実行委員会 TEL 090-8830-8267



エツ



エツ漁の様子

※ エツの言い伝え

昔、旅の僧侶（弘法大師）が筑後川を渡れずに困っているのを見て、川辺の貧しい漁師が親切に対岸まで渡してあげました。僧がお礼にヨシの葉を川面に投げこむと、それがエツになったそうです。

城島町では、「エツ大師堂」を建てて、弘法大師を手厚く祀り、エツの恵みに感謝をしています。

- 山田堰通水式〔6/17（月）朝倉市水神社〕

（朝倉市から情報提供いただきました）

山田堰は、筑後川の水を斜めにせき止めた「傾斜堰 床式石張堰」で、筑後川から取水し、約650haもの水田に導流させるための建造物です。

「堀川用水」は、山田堰から取水した水を農地に送るための農業用水路で、本線約11kmにも及びます。

また、日本最古の実働する水車として全国的にも有名な「朝倉の揚水車群」は、現在「三連水車」1基と「二連水車」2基が稼働しており、かんがい面積は合計約35haになります。回る水車は、6月17日～10月中旬だけ見るこ



山田堰

とができます。

「堀川用水」と「朝倉の揚水車群」は、平成2年に国の史跡に指定されました。

当日は、水神社で神事が行われ、その後、境内地下にある水門が開門します。15分ほどかけて約2km離れた水車群に水が到達し、夏の風物詩である朝倉の揚水車群が回り始めます。

水神社で行われる山田堰通水式はどなたでも参加できます。ぜひお越しください。

日 時 令和元年6月17日(月) 9:30～

開催場所 水神社(朝倉市山田 161)

問い合わせ先 山田堰土地改良区 TEL 0946-52-0531



三連水車

●甘木祇園山笠〔7/13(土)～15(月祝) 朝倉市甘木〕

(朝倉市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。)

約300年の伝統を持つ須賀神社の祇園祭は、夏祭りの一環として行われており、慶長から江戸初期にかけて起源があります。

そもそもは疫病流行に際し、神輿を造り、御神体を遷して町中を練りまわしたことが始まりといわれています。

山笠神事は、7月1日のお汐井取りに始まり、13日には子どもの樽神輿が町中を練り歩き、15日には「追い山」が町中を威勢よく曳きまわります。高さ3mの曳山笠(台車の付いた山)2台の勇壮さは圧巻です。

7月10日からは境内に高さ10m余りの飾り山が公開され、祭り気分を盛り上げます。

日 時 令和元年7月13日(土)～15日(月祝)

・10日(水) 飾り山公開

・13日(土) 14:30～ 子ども樽神輿

・15日(月祝) 14:00～ 追い山

開催場所 須賀神社(朝倉市甘木 842)

問い合わせ先 須賀神社 TEL 0946-22-2249



●^{くぐみや}久喜宮 祇園山笠〔7/14(日) 朝倉市杷木〕

(朝倉市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。)

元禄八年(1695年)に初めて山笠が作られ、毎年地元の方々により輪番で祭られています。

祭りの形態としては、先頭に獅子、次に神輿、最後に山笠となっており、珍しいものです。

日 時 令和元年7月14日(日) 15時ごろ

開催場所 杷木須賀神社(朝倉市杷木若市 2759)

問い合わせ先 朝倉市商工観光課
TEL 0946-52-1428



●調音の滝 滝開き〔7/14（日）うきは市浮羽町妹川〕^{いもがわ}

（うきは市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。）

江戸時代、久留米藩主の奥方が立寄られ、滝をながれる水の音が流音余韻を残し、天然のメロディを奏でるかのように聞こえたことから「音の調べ」すなわち「調音の滝」と名づけられたと言われています。また、崖上から「いろは」の文字を描くように水が流れ落ちることから別名「いろは滝」とも呼ばれています。

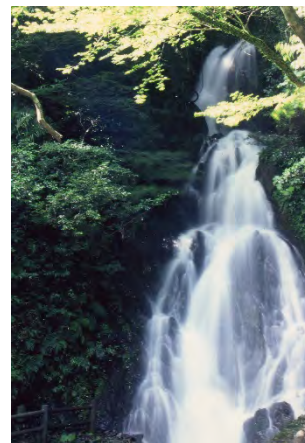
滝壺から涼しい風が吹きあげます、天然のクーラーで涼を感じませんか。

日 程 令和元年 7 月 14 日（日）

※流水プールは 7 月 21 日（日）～8 月 25 日（日）予定

場 所 うきは市浮羽町妹川県道 52 号線沿い

問い合わせ先 観光会館 ^{くら}土蔵 TEL 0943-76-3980



●老松様の麦餅つき祭り〔7/15（月・祝）日田市中津江村〕

（日田市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。）

ふんどし姿の氏子たちが榎の木の長い棒を使って勇壮に麦餅を突き上げていく、迫力のあるお祭りです。

【老松様の麦餅つき祭りとは】

始まりは鎌倉時代。三国山のふもとにある ^{おにのどう}鬼ノ洞 に凶暴な賊が住んだのがことの始まりです。彼らは村々を荒らし、村人が征伐に向かっても討つことができませんでした。村人たちが西国受領の ^{おおとも よしなお}大友 能直 にこのことを訴えると、そこで討伐を命じられた ^{は せ べ むねとし}長谷部 宗俊 が、宮園神社に戦勝祈願をして討伐に向かいます。そして激しい戦いの末に賊の大將を討ち、めでたく凱旋したのです。

この戦勝は宮園神社の御加護によるものであると、社頭でお祭りをし、戦闘の状況を模して餅つきを行ったのが、天福元年（1233 年）7 月 15 日のことでした。

それからというものの五穀豊穡、家内安全、無病無災を祈念したお祭りとして行われ、昭和 10 年頃からは、新暦の 7 月 15 日に行われるようになり、約 800 年間も続く伝統行事となっています。

日 程 令和元年 7 月 15 日（月・祝）

開 催 場 所 宮園津江神社（日田市中津江村）

問い合わせ先 日田市中津江振興局 TEL 0973-54-3111



●吉井祇園祭〔7/21（日）・22（月）うきは市吉井町〕

（うきは市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。）

見事な飾り山笠や祇園囃子、夜店等でにぎわう夏の一大風物詩です。

高さ約 10mの勇壮華麗な山笠が建ち、人々が祇園囃子の調べに誘われて、夏の夜の涼を楽しめます。

皆さま、お誘い合わせのうえ、是非お越しください。

日 程 令和元年7月21日（日）

～7月22日（月）

おみこしの出発 13:30～

開 催 場 所 祇園神社、白壁交流広場（うきは市吉井町）

問い合わせ先 観光会館 土蔵 TEL 0943-76-3980



●日田祇園祭〔7/27（土）・28（日）日田市 隈・竹田、豆田地区〕

（日田市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。）

約 300 年の伝統を誇る日田の夏の伝統行事。疾病や風水害を払い、安泰を祈念するこの祭りでは、絢爛豪華な山鉾が祇園囃子の音色とともに、隈・竹田地区、豆田地区の街並みを巡行します。

また、夜には提灯を飾り付けた優雅な「晩山」の巡行で、祭りは一気に最高潮に達します。

日 程 令和元年7月27日（土）

～7月28日（日）

開 催 場 所 日田市 隈・竹田地区・豆田地区

問い合わせ先 日田祇園山鉾振興会 TEL 0973-24-6453



ユネスコ無形文化遺産



※日田祇園山鉾集団顔見世〔7/25（木）J R日田駅前〕

隈・竹田地区4基、豆田地区4基、平成山1基、あわせて9基の山鉾がJ R日田駅前に一堂に会します。今年はJ R日田駅前広場も完成しました。

提灯を灯した「晩山」で開催される華麗な光景は必見です。

日 時 令和元年7月25日（木）19:00～

開 催 場 所 J R日田駅前

問い合わせ先 日田市観光課 TEL 0973-22-8210



■ 知ってる！？ 筑後川のはなし

このコーナーでは、筑後川について、より知識を深め、親しんでいただくために、筑後川流域の観光、イベント、特産物、史跡などの情報を掲載しています。

今回は、朝倉市の「白川の棚田」を紹介します。

白川の棚田は、秋月と飯塚市を結ぶ県道 66 号線沿いの緩やかな傾斜地にあります。

昔ながらの土^ど羽^はや石積みによる棚田 40 枚（約 2.3ha）が美しい景観を保っており、「日本の棚田百選」に選定されています。

筑後川流域の棚田で「日本の棚田百選」に選定されているのは、福岡県ではつづら棚田(うきは市)・白川の棚田(朝倉市)・竹の棚田(東峰村)、大分県では山^や浦^{まうら}早^そ水^{うず}の棚田(玖珠町)のあわせて 4 か所です。

※土羽：盛土工事により仕上げられた法面

※日本の棚田百選：平成 11 年 7 月に農林水産省において、(1)営農の取り組みが健全である (2) 棚田の維持管理が適切に行われている (3)地域活性化に取り組んでいるなどを基準に選定された。

<総務部 山北>



5 月中旬の白川の棚田



◎白川の棚田への交通・アクセス

車の場合 大分自動車道 甘木 I Cより国道 332 号線 県道 66 号線経由で約 14km (約 30 分)

水 源 情 報

企業団ホームページの「水源情報」は、毎日（土日祝を除く。）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、
「水源情報」が載っています
ので、見てね！！



・企業団ホームページ「水源情報」アドレス

<http://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>



編 集 後 記

最近は毎年のように異常気象が伝えられていますが、今年も5月26日に北海道網走地方の佐呂間で39.5度まで上がり、5月の全国最高気温を更新しました。

北海道のこれまでの最高気温は、5月の記録が33.9度(1996年5月30日北見)、年間の記録が37.8度(2014年6月3日音更町駒場・1924年7月12日帯広)だったそうで、これを大きく更新する暑さとなりました。

6月に入ると田植えの報道が目につくようになりますが、今年は少雨傾向の地方が多いようで、福岡地方も5月の雨量は42mmと平年雨量142.5mmの約30%に留まっており水不足が心配されます。

社会は急激に変わりつつあるようですが、気候は今の所人知の及ぶところではないとは言え、あまり急激には変わってほしくないものです。

<老ライダー>

★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、また感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いします。

たくさんの情報提供を
お待ちしております！！



～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください
福岡地区水道企業団総務課交流広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

牛頸浄水場と海の中道奈多海水淡水化センターを見学しませんか。

○ 牛頸浄水場（九州最大級の浄水場）

○所在地

〒816-0971 大野城市牛頸一丁目1番1号

○見学日

・月曜日から金曜日（祝日、年末年始期間を除きます）

○TEL 092-596-5021 FAX 092-595-3065



牛頸浄水場急速ろ過池

○ 海の中道奈多海水淡水化センター（日本最大規模の海水淡水化施設）

○所在地

〒811-0204 福岡市東区大字奈多 1302 番 122

○見学日

・月曜日から金曜日

・毎月第3日曜日

・水道週間（6/1～6/7）期間内の土曜日と日曜日
（祝日、年末年始期間を除きます）

○TEL 092-608-6262 FAX 092-608-6256



海水淡水化センター施設内部

○ 企業団HPで各施設の予約状況を確認することができます。

見学を希望される場合は、7日前までに電話で予約のうえ、書面による申込み（FAX または郵送）をお願いします。

※ 施設見学の予約状況の確認、申込書（様式例）のダウンロードはこちら

<http://www.f-suiki.or.jp/facility/facility-guides/>

福岡地区水道企業団では、企業団ホームページや SNS（Facebook ページ、Twitter）を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすくタイムリーに情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思ってくださった方は、ぜひ、SNS の機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団HP

<http://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 Facebook ページ



福岡地区水道企業団 YouTube ページ



福岡地区水道企業団

